

技能五輪国際大会の概要

1 技能五輪国際大会とは

2年に一度開催される、幅広い職種の青年技能者（原則22歳以下）を対象とした唯一の世界レベルの技能競技大会。職業訓練の振興と技能水準の向上、技能者の国際交流、親善を図ることを目的としている。

第1回の国際大会は、1950年にスペインの提唱により、スペインとポルトガルの2か国で開催された。

これまで日本では、1970年に東京、1985年に大阪、2007年に静岡で開催した。直近では、本年9月にフランス・リヨンで第47回大会が開催される。

2 ワールドスキルズ インターナショナル WorldSkills International（略称：WSI）

1954年に設立された国際組織（事務局：オランダ）で、86か国・地域が加盟（2024年2月現在）している。

日本は1961年から中央職業能力開発協会が加盟している。

3 2028年技能五輪国際大会の開催地決定までのスケジュール（予定を含む）

2023年 9月 : WSI 総会（アイルランド・ダブリン）において
2028年技能五輪国際大会開催国の募集開始

2023年 11月 : 厚生労働省が日本・愛知へ招致することを決定
日本国として立候補

2024年 3月 : WSI 会長等による検証訪問【今回】

2024年 6月 : 開催計画等を記載した提案書の提出

2024年 9月 : WSI 総会（フランス・リヨン）において
2028年技能五輪国際大会の開催地決定